誰もが抱える悩みをパパッと解決！

福田貴一先生の福が来るアドバイス

冬から始める、新年度へ向けた準備

早稲田アカデミー
城東ブロック統括責任者
福田　貴一

今回は、「新年度へ向けた準備」について書かせていただきます。このコラムが皆様のお手元に届くのは10月末ごろでしょうから、「まだ早いのでは…？」とお感じになられる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、中学受験カリキュラムは2月からスタートします。新しい学年で良いスタートを切るためには、今年のうちに新年度からの生活を具体的にイメージしておくことが大切なのです。

まずは、予定の確認を

新学年が始まる2月から、お子様が受ける授業の曜日・時間がどう変わるのかご存知でしょうか。学年が上がれば塾の授業日数や時間も増えるのが一般的ですから、まずはその点を確認することが必要です。家庭学習の内容や所要時間もできれば把握しておきたいところですが、それはもう少し先でもかまいません。一週間の通塾スケジュールがわかれば、大まかな生活リズムをイメージすることができるはずです。習い事などの予定をそれに合わせて変えていくことも必要になってくるでしょう。

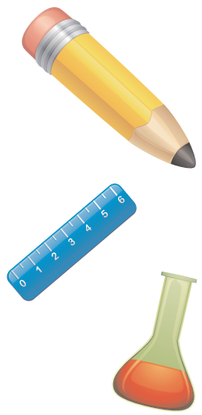
新学年へ切り替わるタイミングは、習い事を整理する機会でもあります。中学受験を乗り切るためには、体力も気力も必要です。それらを鍛えるためにも、また〝気分転換〟や〝生活のメリハリ〟のためにも、習い事は大切なものだと思います。しかし、中学受験の学習は、はっきりとしたゴールに向けて行うものです。そのゴールとは、「小6の1月・2月」です。この点において、塾は一般的な習い事と一線を画すものだと思います。ある時期からは、他の習い事よりも塾の優先順位を上げて取り組んでいかなければならないのです。

新学年が始まってから「勉強が大変になってきたので、習い事をどうしようかと考えて…」というご相談を受けることがありますが、そうならないためには、整理するタイミングも含めて、習い事についてお子様と話し合う機会を、少し早い時期から設けておくとよいでしょう。

新学年を楽しみにする工夫を

お子様の気持ちが新しい学年に対して前向きになっていることも、新学年で良いスタートを切るための大切なポイントです。「新しい学年からがんばろう」という気持ちで新年度に臨めるように、ご家庭でも工夫をしていただくとよいでしょう。

私の勤務する早稲田アカデミーでは、小学校4年生から塾でお弁当を食べることになります。あるお母様から、「小3の冬休みに家でお弁当を食べる練習をしてみました」というお話を伺ったことがあります。お母様にしてみれば、お子様がどれくらいの量をどれくらいの時間で食べられるのか確認したかったようです。しかしお子様の方は、お弁当箱を一緒に買いに行くところからとても楽しんでいたそうで、「早く4年生になって塾でお弁当を食べたい」と話していたとのことでした。また、新学年から使う文房具をクリスマスプレゼントとして用意した、というご家庭もありました。



冬休みの過ごし方

新学年への学習準備として、一番大切になるのは「冬期講習会」です。「冬期講習会」は、どの学年においても総復習的な位置づけになっているからです。

一方で、冬休みというのは一年の中でも特殊な時期です。クリスマスに大晦日、お正月と、お子様にとって楽しいイベントがたくさんあります。クリスマスプレゼント、お年玉におせち料理に…と、気持ちも浮き立つことでしょう。「勉強をするヒマがない」「勉強に集中できない」という状態にならないように、事前にきちんとした計画を立てることが大切です。夏休み・春休みも計画を立てて過ごすことが必要ですが、冬休みは気持ちの上でもしっかりと準備をしておかないと、何もしないままあっという間に終わってしまいます。学習以外の予定もたくさんあるはずですので、まずはそれを決めたうえで、集中して学習できる時間を確保するようにしてください。

また、日本人にとって、お正月はやはり特別な意味を持つものだと思います。元日という特別な日に交わした会話は、普段のものよりも記憶に残ります。このタイミングで、新学年からの学習の方向性や、いま一生懸命努力することの意味、将来の目標などについて、ぜひお子様と会話をしていただきたいと思います。もちろん、新たな学年に向けた目標や抱負などをお話しいただくのもよいでしょう。

受験学年の冬の過ごし方

受験学年である6年生の場合は、冬をどう過ごせばよいのでしょうか。実は6年生にとっても「新年度へ向けて思いをはせる」というのはとても大切なことです。受験生にとっての「新年度」とは、受験を乗り越えた先の中学校生活、ということになります。

これからの時期、受験生の心の中には、不安が大きくなっていくはずです。「もし合格できなかったら…」、そんな思いで日々過ごすお子様も多いことでしょう。そのような時期だからこそ、合格した先のことを考えたり、話したりすることは、お子様の気持ちを明るくし、前向きにさせる効果があります。春休みに家族旅行に行く計画を先に立てるのもよいでしょう。余談ですが、中学校に進学して部活動などが始まると、ご家族での時間がなかなかとれない場合もありますので、小学校から中学校に進学する春休みは家族で旅行する良い機会となります。その旅行の計画を、受験学習の合間に考えるのは効果的な「息抜き」になると思います。また、中学校での生活をイメージしてみるのも良いことです。どんな部活動に入りたいのか、お父様やお母様が中学生のときはどんなだったのか…。そんな会話も、中学入試という大きな壁に正面から立ち向かう受験生にとっては、励みになるものです。

早稲田アカデミー　ホームページにて
ブログ　福田 貴一の 四つ葉cafe　公開中!

中学受験をお考えの小学校3・4年生のお子様をお持ちの保護者様のためのブログです。
早稲田アカデミー 城東ブロック 統括責任者　福田 貴一
中学受験に関するブログを公開しています。このブログでは、学習計画の立て方、やる気の引き出し方、テストの成績の見方、学校情報など、中学入試に関するさまざまなことについて書いています。
詳細はホームページをご確認ください。
早稲田アカデミー　検索
左のニ次元バーコードを読み込んでご確認下さい
スマートフォンのみ対応